

【5.1】

正整数 n に対して, 数列 $\{u_n\}$ を次のように定義する.

$$u_1 = 2, \quad u_2 = a^2 + 2, \quad u_{n+2} = a u_n - u_{n+1} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

このとき, $\{u_n\}$ の項に 4 の倍数が現れないための整数 a に関する必要十分条件を求めよ.

【5.2】

正整数 n に対して, \sqrt{n} に最も近い整数を a_n とする.

(1) m を正整数とすると, $a_n = m$ となる正整数 n の個数を m の式で表せ.

(2) $\sum_{k=1}^{2006} a_k$ を求めよ.

【5.3】

正整数 n に対して, 連立不等式

$$\begin{cases} x+y+z \leq n \\ -x+y-z \leq n \\ x-y-z \leq n \\ -x-y+z \leq n \end{cases}$$

を満たす xyz 空間内の格子点の個数を $u(n)$ で表すとき,

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{u(n)}{n^3}$$

の値を求めよ.

【5.4】

2次方程式 $x^2 - 4x + 1 = 0$ の解 α, β ($\alpha > \beta$) に対して,

$$s_n = \alpha^n + \beta^n$$

によって数列 $\{s_n\}$ を定義する.

- (1) s_{n+2}, s_{n+1}, s_n の関係式を求めよ. ただし, $n = 1, 2, 3, \dots$ とする.
- (2) $[\alpha^{2003}]$ の一位の数字を求めよ. ただし, $[x]$ は x を超えない最大の整数を表す.

【5.4】

漸化式

$$a=4, \quad a_{n+1} = a_n^2 + 4a_n + 3 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定まる整数列 $\{a_n\}$ を考える.

- (1) $a_n - 4 \equiv 0 \pmod{7}$ を示せ.
- (2) $a_n^2 + a_n + 1 \equiv 0 \pmod{7}$ を示せ.
- (3) a_n^{3p} を 7^n で割った余りを求めよ. ただし, p は正整数とする.